

重ねるハザードマップ

災害種別で選択

洪水 土砂災害
津波 道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

すべての情報から選択

全表示 全非表示 全削除

土地の特徴・成り立ち
土地分類基本調査(地形分類図)

土地分類基本調査(地形分類図) 解説

重ねるハザードマップ

NEW

諸元情報ポップアップ表示

中山間地を含めた広域で**地形分類図**が閲覧可能

旧河道
谷底平野
段丘

図名 永平寺
都道府県名 福井県
実施機関 福井県
調査年 昭和62年度
発行年月 昭和63・平成元年

詳細な地形分類 地形分類(自然地形)を見る
地形分類(人工地形)を見る
土地条件図(数値地図25000(土地条件))を見る
土地条件図(初版)を見る
治水地形分類図(1976~1978年)を見る
治水地形分類図(更新版(2007~2012年:自然地形))を見る
治水地形分類図(更新版(2007~2012年:人工地形))を見る
活断層図を見る
洪水浸水想定区域を見る

凡例 凡例を見る
簿冊 簿冊を見る

詳細情報閲覧

災害リスクを知る上でより詳細な情報を掲載

地形分類(自然地形)

土地条件図

活断層図

洪水浸水想定区域

土地の成り立ちと自然災害リスクとの関係を確認

解説

土地の成り立ちと自然災害リスク
各種地形分類の凡例対応表
治水地形分類図解説書
土地分類基本調査について

地形分類・自然災害リスクに関する参考情報

◆地形分類(自然地形)

地形分類	土地の成り立ち	自然災害リスク
山地	尾根や谷で構成される土地や、比較的斜度の急な土地。山がちな古い段丘の斜面や火山地を含む。	大雨や地震により、崖崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害のリスクがある。
台地・段丘	周囲より階段状に高くなった平坦な土地。周囲が侵食により削られて取り残された地形。	河川氾濫のリスクはほとんどないが、河川の高さ小さい場合には注意。縁辺部の斜面近くでは崖崩れに注意。地盤は硬く、地震の揺れやリフトがある。
扇状地	起伏が小さく、低くて平坦な土地。	河川の氾濫に注意。地盤は海岸に近いほど軟弱で、地震の際の揺れが大きくなりやすく、液状化のリスクがある。沿岸部では高潮や津波に注意。
氾濫平野	かつて河川の流路だった場所で、周囲よりわずかに低い土地。流路の移動によって河川が切り離されて、その後には砂や泥などで埋められていく。	河川の氾濫によって周囲より長期にわたって水はけが悪い。地盤が軟弱で、地震の際の揺れが大きくなりやすく、液状化のリスクがある。
旧河道	現在(調査時)の河川敷や浜辺。	河川の増水や高潮で冠水する。河川敷は地盤が軟弱で、液状化のリスクが大きい。
水部	現在(調査時)において、海や湖沼、河川などの水面である場所。	
旧水部	江戸時代もしくは明治期から現在までの間に海や湖、池・貯水池であり、過去の地形図などから水部であったと確認できる土地。その後の土砂の堆積や土木工により陸地に	地盤が非常に軟弱で、液状化のリスクが大きい。沿岸部では高潮や津波に注意。

◆地形分類 凡例対応表

地形分類	細分類
山地	山地斜面等 斜面(山地) 火砕丘 溶岩円頂丘 火口 溶岩流地形
台地・段丘	台地・段丘 対比困難な段丘 洪積台地 岩石台地 溶岩台地 更新世段丘 台地・段丘状の地形
扇状地	扇状地 緩扇状地
氾濫平野	谷底平野・氾濫平野 海岸平野・三角洲 湖岸平野・三角洲 氾濫平野
旧河道	旧河道 旧河道(明瞭) 旧河道(不明瞭)
河川敷・浜	高水敷 低水敷・浜 低水敷・浜・潮汐平野 高水敷・低水敷・浜

凡例を表示し、任意の場所の地形分類を確認